

人が創るガラスの輝きは宝石にまさる

富山ガラス × ^{たけうち しゅん} 竹内 駿 [富山県富山市]

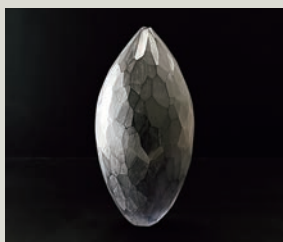
ガラス製品に着目した富山市は、1985年に市の活性化対策として「富山市民大学ガラス工芸コース」を開講しました。多くの市民の参加や後押しもあり、1991年には将来のガラス文化を担う人材を育成する公立初の専門教育機関「富山ガラス造形研究所」が開校します。さらに、優れた人材が活躍できるよう、作品づくりや販売のための「富山ガラス工房」を1994年に開設、30年間にわたり多くの作家を支え続けてきました。現在富山ガラス工房に籍を置く竹内さんは、美術大学で陶芸や木工等のものづくりを経験する中で、最も難しいと感じたガラスに惹かれこの道に飛び込みました。手にする人に喜んでいただけるよう、妥協することなく細部にこだわったものづくりをし続けたいと言います。富山ガラス工房に集う仲間と力を合わせ、今日も新たな作品づくりに挑戦しています。



●「Reflection」(酒器)
お酒の色を引き立て、注いだ時にガラスの中の景色が変わる酒器セット。



●「cliff」(オーナメント)
見る角度で光が乱反射し、いろんな景色を見せてくれる。
ガラスの輝きに見入った子どもの頃を思い出す。



●「cliff」(オーナメント)
崖をイメージした、目を惹くガラス作品。



●「decanter」(デキャンタ)
ガラスの素材を生かした意匠で、ワインの深い赤い色が際立つ。



●「tumbler」(グラス)
暮らしに溶け込んでいるガラス製品は、なくてはならない。



作家の創造力が、炎と熱によって形となる。

一般財団法人富山市ガラス工芸センター
(富山ガラス工房)

富山県富山市古沢152
TEL : 076-436-2600(代表)
Email : takes.glass@gmail.com



竹内 駿 (ガラス作家)

北海道出身

2017年 秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻(ガラス)卒業

2017~2022年 新島ガラスアートセンター勤務

2022年 富山ガラス工房所属

【受賞歴】

2015年 第28回新島国際ガラスアートフェスティバル
新島スカラーシップ 受賞

2019年 第59回日本クラフト展 入選

2023年 第9回現代ガラス展in山陽小野田 中国電力株式会社賞 受賞

2023年 工芸都市高岡クラフトコンペティション 入選

Instagramは
こちらから

